

小型肺癌における Location 別リンパ節転移形式の研究

1. 研究の対象

2017 年から 2023 年に当院で 3 cm 以下の肺癌に対して区域切除もしくは肺葉切除をうけられた方

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2031 年 3 月 31 日

研究目的: Japan Clinical Oncology Group (JCOG)0802/ West Japan Oncology Group (WJOG) 4607L 試験より末梢小型肺癌に対して区域切除とリンパ節郭清の有効性が報告され、今後区域切除とリンパ節郭清は標準術式の一つとなりました。しかし、リンパ節郭清は肺葉切除とともに発展してきた背景があり、区域切除におけるリンパ節郭清の至適範囲は明確ではありませんでした。そこでわれわれは、JCOG0802/WJOG4607L 試験の副次的解析を行い、末梢小型肺癌に対するリンパ節郭清について報告しました。

近年、中枢小型肺癌に対しても区域切除は肺葉切除に予後で劣らないといくつかの論文で報告されております。今後、中枢小型肺癌に対しても区域切除の適応範囲は拡大される可能性が高いと考えられますが、中枢小型肺癌におけるリンパ節転移形式や再発形式はまだ不明な点が多いです。そこで、今回我々は末梢小型肺癌と中枢小型肺癌のリンパ節転移様式を比較し、適切なリンパ節郭清を明らかにすることを考えました。

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、年齢、性別、腫瘍マーカー、画像所見、腫瘍局在部位ごとのリンパ節転移様式を検討し、背景因子、治療方法、予後なども評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①基本情報

性別、肺切除時の年齢、腫瘍占拠部位、腫瘍径 病期など

②手術と病理学的診断、術後治療

手術日、術式、完全切除の有無、組織型、術後病理でのリンパ節転移情報、病理病期、リンパ節転移部位など

③予後情報、再発後治療

再発の有無、初再発確認日、生死と死因、最終生存確認日 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 馬庭知弘

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上